

2010年6月9日

「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」に関する 公開質問状

「余命1ヶ月の花嫁・乳がん検診キャラバン」が、20代・30代の女性を限定に乳がん検診を行っている問題をめぐり、以下の4点について質問させていただきたく存じます。

1. 2008年から20代・30代の女性を対象にマンモグラフィー検診を行ってきた科学的根拠と、医学的助言・監修の取得先をお教えてください。
2. 2010年も当初はマンモグラフィー検診が行われる予定でしたが、5月25日頃、突如マンモグラフィー検診の記述が削除され、すべて超音波（エコー）検診に変更されました。マンモグラフィー検診を取りやめた理由と、20代・30代の女性を対象に超音波検診を行う科学的根拠をお教えてください。
3. 今後はどのような活動を行っていくのか、これからもマンモグラフィー検診および超音波検診を続けるのか、20代・30代の女性にどのような情報とメッセージを発信していくのか、将来的な活動展開に対するお考えをお聞かせください。
4. 今後も何らかの医療活動を継続される場合、科学的根拠に基づいて情報を提供していくのか、また、医学的なアドバイザー・ボードを置く予定はあるか、その場合どのような方を指名なさるか、お考えをお聞かせください。

以上4点につきまして、7月9日までにご回答いただきたく、お願い申し上げます。

なお、この質問状と要望書の内容、ならびにいただいたご回答は、以下のホームページにて公開させていただきます。

<http://www.cancernet.jp/kenshin/index.html>

以上